好評発売中　**一茶生誕250年企画**

一茶ものがたり ―小林一茶と信州高山―

小林一茶と高山村の関係は、一茶が４７歳の時、柏原の門人中村二竹の従兄弟である久保田春耕を訪ねたことに始まります。以後、６５歳で亡くなるまで高山村をたびたび訪れ俳句の指導をしました。高山村の一茶の門人は２０名もいました。

門人の子孫に伝えられた一茶の真筆は５０点余り。これは、全国で最も多い数です。「高山村は一茶研究の宝庫」と言われるほど一茶と深い関係のある所なのです。

この本は、一茶の一生、高山村との関係、一茶の俳句の魅力などについて写真とわかりやすい文章でまとめたものです。

フリガナ付きで小学生にも読める一茶の俳句読本です。

内容　　Ｂ５判８０ページ

○　一茶の句と高山村の四季
一　一茶の一生
二　一茶と高山村
三　一茶の俳句
四　父の終焉日記（現代語訳）
五　一茶の歌
六　一茶ゆかりの里　一茶館
七　俳句入門
八　一茶の年譜

刊行　　平成２４年１０月７日

価格　　１０５０円

信州 歴史公園 高山

一茶ゆかりの里　一茶館

382-0825 長野県上高井郡高山村大字高井 5161-1
TEL026-248-1389　FAX026-248-8913

販売所

一茶館、山田温泉スパイン、田中本家博物館、小布施文化観光協会、平安堂長野駅前店、平安堂若槻店、平安堂須坂店他

直送は送料等２５０円がかかります。info@kobayashi-issa.jp

時間はかかりますが、全国の書店やAMAZONからも取り寄せ可能です。発売元星雲社、発行社ほおずき書籍、「一茶ものがたり」で注文して下さい。ISBN-13: 978-4434171659